

**MITSUBISHI
ELECTRIC**

**三菱電機エアコン別売部品
自動昇降パネル
自動昇降ムーブアイパネル**

形名

**CMP-P・ALWHG2/3
CMP-P・ALWEG2**

取付・取扱説明書

お願い

適用機種を必ず確認し、誤使用のないようにお願いします。

もくじ

■取付説明

1. 取付け上のお願い	4
2. 構成部品	4
3. 制御箱の取付け	5
4. 自動昇降パネル取付前の準備	7
5. 自動昇降パネルの取付け	7
6. オートベーンの配線	8
7. ムーブアイの配線 (CMP-P・ALWEG2)	8
8. 昇降パネル制御箱の配線	9
9. アース線の配線 (P112形パネルのみ)	9
10. サービスパネルの下降位置設定	10
11. ワイヤードリモコン (PAR-35MA) の機能設定 (PLのみ)	10
12. 配線図メイバンの貼付け	10
13. 自動昇降パネルの固定	10
14. パネルネジ止め手順	11
15. サービスパネルの取付け	11
16. 自動昇降パネルの収納	12
17. オートベーン、自動昇降パネルおよびムーブアイの動作確認	12
18. 風の吹き分け方法 (ベーンの固定方法)	12
19. 風量分配 (7:3) 方法	13
20. 応急時のサービスパネルの固定について	13
21. 電気配線図	14


■取扱説明


1. 使用上の注意	17
2. 各部の名前	18
3. ワイヤレスリモコン (昇降パネルリモコン (別売)) の取扱い	18
4. サービスパネルの昇降操作のしかた	19
5. 清掃のしかた	26
6. 応急昇降について	26
7. 「故障かな？」と思ったら	27
8. 保証とアフターサービス	28

■ 取付説明

安全のために必ず守ること

- ◆この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り付けてください。
- ◆ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

 **警告** 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度

 **注意** 取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

- ◆図記号の意味は次のとおりです。



- ◆お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- ◆お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

電気配線工事は「第一種電気工事士（工事条件によっては第二種電気工事士）」の資格のある者が行うこと。

一般事項

警告

特殊環境では、使用しないこと。

- ◆油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用した場合、著しい性能低下・腐食によるけが・感電・故障・発煙・火災のおそれあり。



ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- ◆感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



注意

パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- ◆回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- ◆高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- ◆高温部に触れると、火傷のおそれあり。



運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。

- ◆運転停止から5分以上待つこと。
- ◆ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。



部品端面や熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- ◆けがのおそれあり。



運搬・据付工事をするときに

注意

梱包に使用しているPPバンドを持って運搬しないこと。

- ◆けがのおそれあり。



20kg以上の製品の運搬は、1人でしないこと。

- ◆けがのおそれあり。



据付工事をするときに

警告

梱包材を処理すること。

- ◆ 梱包材で遊んだ場合、窒息事故のおそれあり。
- ◆ 破棄すること。



電気工事をするときに

警告

配線に外力や張力が伝わらないようにすること。

- ◆ 伝わった場合、発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



端子接続部に配線の外力や張力が伝わらないように固定すること。

- ◆ 発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



電気工事をする前に、主電源を切ること。

- ◆ けが・感電のおそれあり。



電気工事は第一種電気工事士（工事条件によっては第二種電気工事士）の資格のある者が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および据付工事説明書に従って行うこと。電気配線には所定の配線を用い専用回路を使用すること。

- ◆ 電源回路容量不足や施工不備があると、感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



移設・修理をするときに

警告

移設・修理をする場合、販売店または専門業者に依頼すること。分解・改造はしないこと。

- ◆ 不備がある場合、冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



注意

販売店または専門業者が取付説明書に従って取り付けを行うこと。

- ◆ 不備がある場合、けがのおそれあり。



お願い

エアフィルターを外した状態で運転しないでください。

- ◆ ユニット内部にゴミが詰まり、故障のおそれあり。

1. 取付け上のお願い

適用機種を必ず確認し、誤使用のないようにお願いします。

<1> 必要部品

本別売部品は下記本体が必要です。



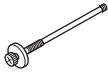


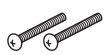








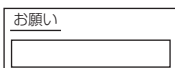

形名	適用機種
CMP-P45ALWHG2	PLFY-P22 ~ 45
	PL-RP40 ~ 56LA6,7
	PL-RP40LA8 以降
CMP-P71ALWHG2	PLFY-P56,71
	PL-RP63 ~ 80LA6,7
	PL-RP45 ~ 80LA8 以降
CMP-P112ALWHG3	PLFY-P80 ~ 112
	PL-RP112 ~ 160LA6 以降
CMP-P45ALWEG2	PL-RP40LA8 以降
CMP-P71ALWEG2	PL-RP45 ~ 80LA8 以降
CMP-P112ALWEG2	PL-RP112 ~ 160LA9 以降

<2> 制約事項

※外気取入ダクトフランジとの併用はできません。

2. 構成部品

本別売部品には下記部品が同梱付属されておりますので取付け前に確認してください。

自動昇降パネル	制御箱	パネル取付ネジ		PTT ネジ	トラスネジ5×60
1 個	1 個	2 本 (長)	2 本 (短)	45・71形パネル : 6本 112形パネル : 3本	2本 (112形パネルのみ)
					
プレート BR	ワイヤーサドル	結束バンド	ワッシャー	リード線① (短:コネクター-9Pシロ/7Pクロ)	リード線② (短:コネクター-5Pシロ/3Pクロ)
4 個 (45・71形パネルのみ)	4 個	45・71形パネル : 3個 112形パネル : 5個	2個 (112形パネルのみ)	1 個	1 個 ※ 1
					
リード線③ (長:コネクター-3Pクロ)		リード線④ (長:コネクター-9Pシロ/7Pクロ)		操作ラベル	配線図メイバン
1 個		1 個 ※ 2		1 個	本体形名PL形用:1個 本体形名PLFY形用:1個
45 形 : 1200mm 71 形 : 1400mm 112 形 : 1900mm 		45 形 : 1350mm 71 形 : 1550mm 112 形 : 2050mm 			

- ※ 1 本体形名 PLFY 形および PL-RP40 ~ 80LA8 形以降、PL-RP112 ~ 160LA9 形以降では使用しません。
- ※ 2 本体形名 PL 形では使用しません。
- ※ 3 ネジ、結束バンド類の小部品の数に予備は含まれていません。なくさないでください。

3. 制御箱の取付け

電気工事をする前に、主電源を切ること。

• けが・感電のおそれあり。



※自動昇降パネルを取付ける前に、制御箱を取付けます。

a. 本体形名 PL-RP40～80LA6,7、PL-RP112～160LA6～8 の場合

- 1) 元電源を切ってください。
- 2) 制御箱を本体断熱材の切欠き部に合わせ、付属の PTT ネジ 2 本で締め付けます。(図3-1 →部)
- 3) 付属のワイヤーサドルを(図3-2)の位置に取付けてください。(45・71形：2カ所、112形：4カ所)
- 4) 本体制御箱のフタを外して制御箱から出ている電源配線を(図3-3)のように所定の経路に通します。

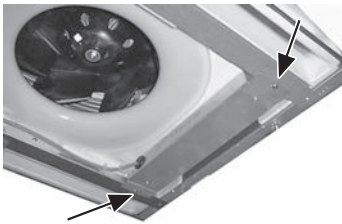


図3-1

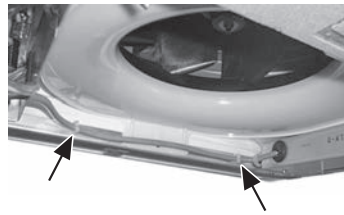


図3-2

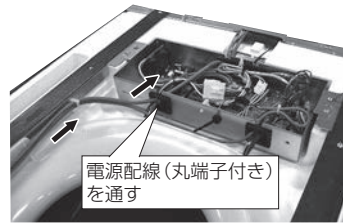


図3-3

- 5) 本体ユニットの端子ボックスのカバーを取外して、端子台 S1、S2 へ電源配線を接続してください。
※配線リブレースキットをご使用の場合は、リブレース端子台 R、S へ電源配線を接続してください。
- 6) 本体ユニットの制御箱と端子ボックスのカバーを元どおり取付けてください。

b. 本体形名 PL-RP40～80LA8 以降、PL-RP112～160LA9 以降の場合

- 1) 元電源を切ってください。
- 2) 制御箱を本体断熱材の切欠き部に合わせ、付属の PTT ネジ 2 本で締め付けます。(図3-1 →部)
- 3) 付属のワイヤーサドルを(図3-2)の位置に取付けてください。(45・71形：2カ所、112形：4カ所)
- 4) 本体制御箱のフタを外して制御箱から出ている電源配線を(図3-3)のように所定の経路に通します。
- 5) 本体制御箱の端子台 S1、S2 へ電源配線を接続してください。
※配線リブレースキットをご使用の場合は、リブレース端子台 R、S へ電源配線を接続してください。
- 6) 本体ユニットの制御箱と端子ボックスのカバーを元どおり取付けてください。

c. 本体形名 PLFY 形の場合

- 1) 元電源を切ってください。
- 2) 制御箱を本体断熱材の切欠き部に合わせ、付属の PTT ネジ 2 本で締め付けます。(図3-1 →部)
- 3) 付属のワイヤーサドルを(図3-2)の位置に取付けてください。(45・71形：2カ所、112形：4カ所)
- 4) 本体制御箱のフタを外して制御箱から出ている電源配線を(図3-3)のように所定の経路に通します。
- 5) 本体ユニットの端子台ボックスのカバーを取外して、端子台 R、S へ電源配線を接続してください。
※端子台への接続は、端子台のネジを外し、リード線の丸端子を端子台のネジで仮止めし、現地配線を合わせて端子に挿入しネジを本締めしてください。
※接続後はボックスのカバーを必ず元に戻してください。
- 6) 本体ユニットの制御箱と端子ボックスのカバーを元どおり取付けてください。

<1> ワイヤードリモコンで昇降操作する場合（ワイヤード仕様）

ワイヤードリモコンで昇降操作する場合は、下記のとおり配線を接続してください。

お願い	ワイヤードリモコンは昇降操作するエアコン全てが見える位置に設置してください。 ・エアコンが見えない位置から操作した場合、下降するパネルに人や物が当たり、損傷を与える原因となります。
------------	---

a. 本体形名 PL-RP40～80LA6,7, PL-RP112～160LA6～8 の場合

- 1) 付属リード線③を昇降基板のCN3G(クロ)に差込み、電源配線を通してあるゴムブッシュに通してください。(図3-4)
- 2) (図3-5)のように所定の経路を通します。
- 3) 付属リード線②を使用して本体制御基板のCN51(シロ)にコネクタを確実に差込んでください。(図3-6)
- 4) 室内ユニット制御基板のディップスイッチ SW1-1 を OFF にしてください。
 ※スイッチ設定変更をしないとパネルが昇降誤動作します。

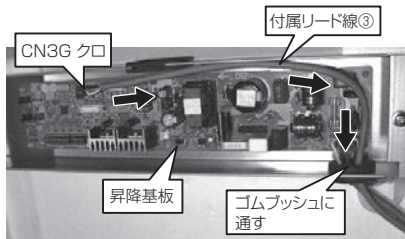


図3-4

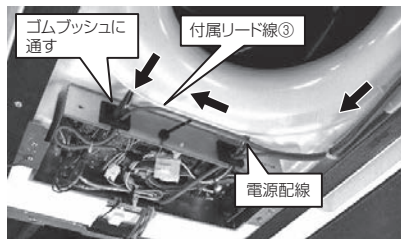


図3-5

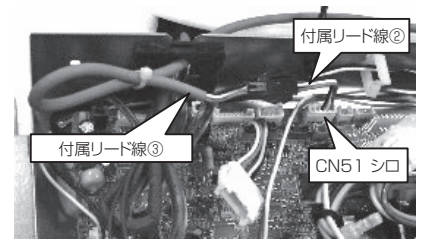


図3-6

b. 本体形名 PL-RP40～80LA8以降、PL-RP112～160LA9以降の場合

- 1) 付属リード線③を昇降基板のCN3G(クロ)に差込み、電源配線を通してあるゴムブッシュに通してください。(図3-4)
- 2) (図3-5)のように所定の経路を通します。
- 3) 付属リード線③のコネクタ(3P クロ)を本体制御基板上のコネクタCN3G(クロ)に確実に差込んでください。(図3-7)

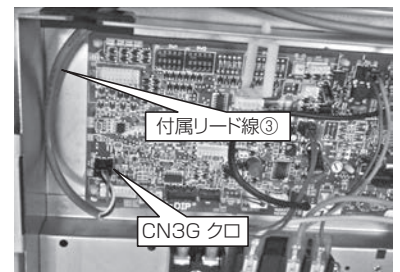


図3-7

c. 本体形名 PLFY 形の場合

- 1) 付属リード線④のコネクタ(7P クロ)を電源配線を通してあるゴムブッシュに通してください。(図3-8)
 ※ゴムブッシュに通した付属リード線④のコネクタ(7P クロ)は制御箱内でフリーな状態にしておいてください。
- 2) 付属リード線③を昇降基板のCN3G(クロ)に差込み、電源配線を通してあるゴムブッシュに通してください。(図3-4)
- 3) (図3-9)のように所定の経路を通します。
- 4) 付属の結束バンドにて電源配線及び付属リード線(2本)を結束してください。(図3-9)
- 5) 付属リード線③のコネクタ(3P クロ)を本体制御基板上のコネクタCN3G(クロ)に確実に差込んでください。(図3-10)
- 6) 付属リード線④のコネクタ(9P シロ)を本体制御基板のCN93(シロ)に確実に差込んでください。(図3-10)

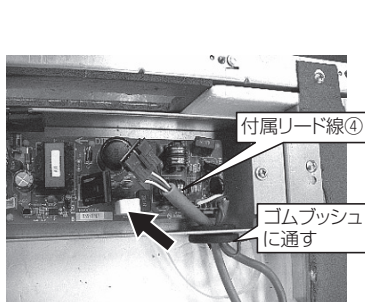


図3-8

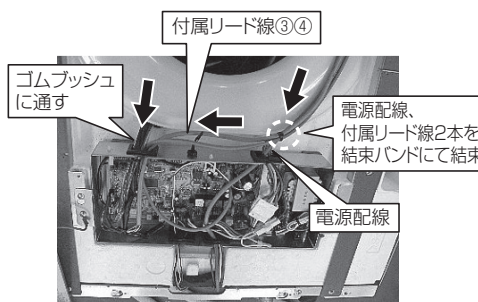


図3-9

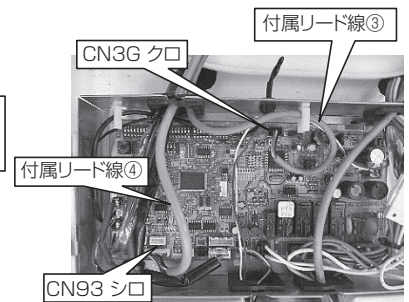


図3-10

4. 自動昇降パネル取付前の準備

- 1) 自動昇降パネルを取付ける前に、ユニット本体が正常に吊られているか確認してください。(水平度と吊り高さ)
 ユニット本体は、**図4-1**のように本体下面位置が天井表面より 57mm 以上 67mm 以内、天井に引き込むように据付けられていれば正常です。

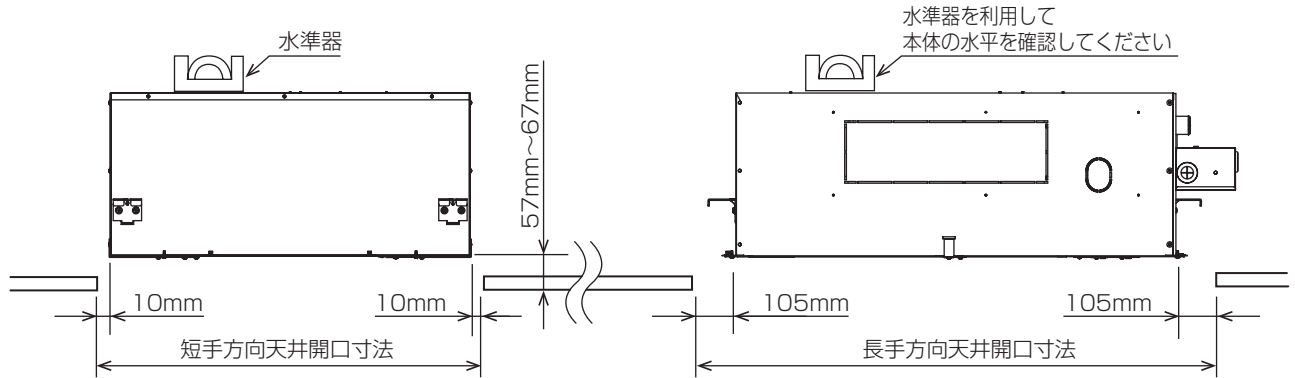


図4-1

- 天井面とユニット本体の位置が正しく合っていないと風漏れや露垂れおよびパネルたわみの原因となります。
- 天井開口寸法は下記の寸法か確認してください。
 45形パネル 寸法 1040 × 670
 71形パネル 寸法 1210 × 670
 112形パネル 寸法 1710 × 670

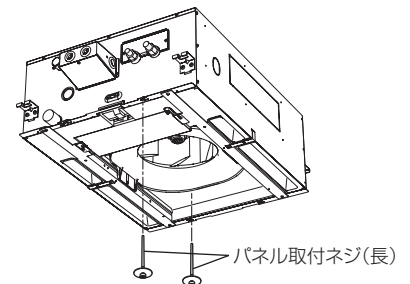


図4-2

- 2) サービスパネルを外してください。
 パネル本体とサービスパネル間に緩衝材が入っています。
 緩衝材を取除いてから、サービスパネルを外してください。

5. 自動昇降パネルの取付け

自動昇降パネルを取付ける前に、ユニット本体に付属のパネル取付ネジ(長) 2本を**図4-2**の位置に対角で仮止めします。(図5-1のとおりパネル取付ネジ(長)の一段目のネジ部がユニット本体のナットを通抜ける位置までねじ込みます。)
 次に自動昇降パネルを取付けますが、オートバンのコネクター部が必ず配管側になるよう方向に注意してください。

方向を合わせたら、仮止めしたパネル取付ネジ(長)にパネル本体吸込口部のU切欠き穴を引掛けます。(図5-2)

最初に反配管側、次に配管側を引掛けます。(図5-3)

(配管側はパネル取付ネジ(長)を内側に押し引掛けると作業が楽に行えます。)
 この状態でパネル本体は仮止めされますが、パネルを持上げたり、強く揺らすと外れることがありますので、パネル取付ネジ(短) 2本で残りの2カ所を取付けてください。

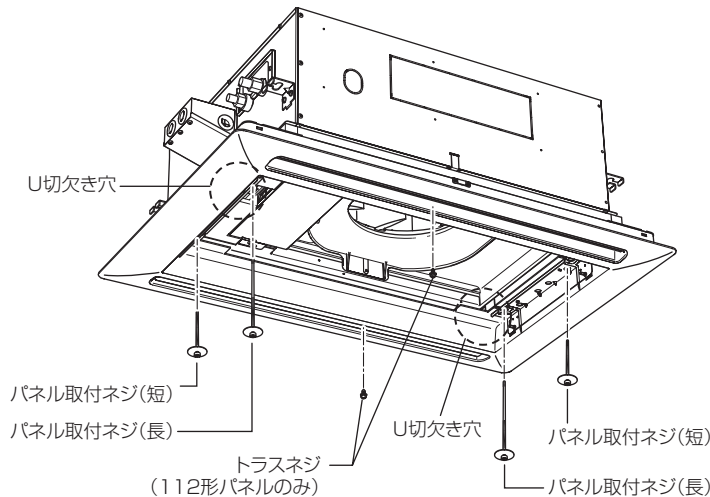
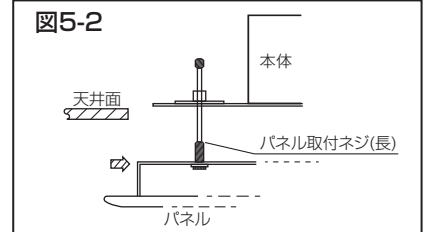
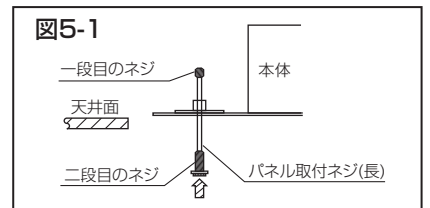


図5-3

6. オートベーンの配線

※リード線は、サービスパネルに挟まれないように付属の結束バンドにて束ねてください。

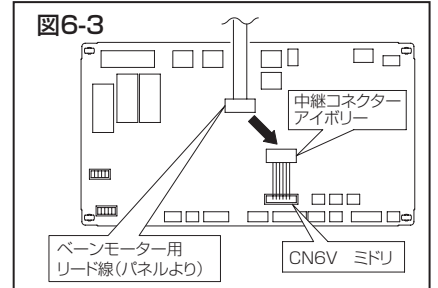
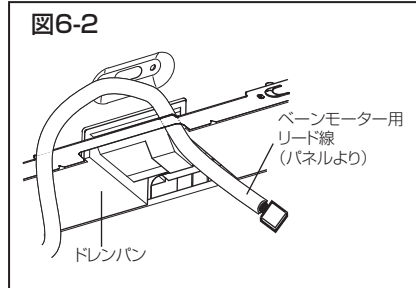
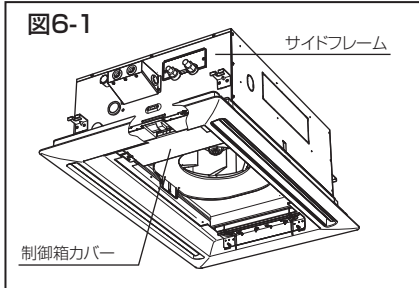
※オートベーンには、無理な力を絶対に加えないでください。故障の原因となります。

a. 本体形名 PL-RP40~80LA6,7, PL-RP112~160LA6~8 の場合

本体制御箱のカバーを外してください。(図6-1)

次にパネルのベーンモーターリード線をサイドフレームの穴とドレンパンの狭い側の溝を通してください。(図6-2)

本体制御基板の CN6V に接続されている中継線のコネクタにパネルのベーンモーターリード線のコネクタを確実に差込んでください。(図6-3)

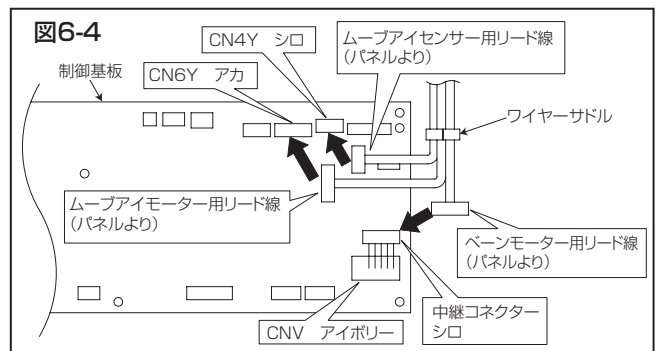


b. 本体形名 PL-RP40~80LA8 以降の場合

本体制御箱のカバーを外してください。(図6-1)

次にパネルのベーンモーターリード線をサイドフレームの穴とドレンパンの溝を通してください。(図6-2)

本体制御箱内のワイヤーサドルを通し、制御基板の CNV に接続されている中継線のコネクタにパネルのベーンモーターリード線のコネクタを確実に差込んでください。(図6-4)

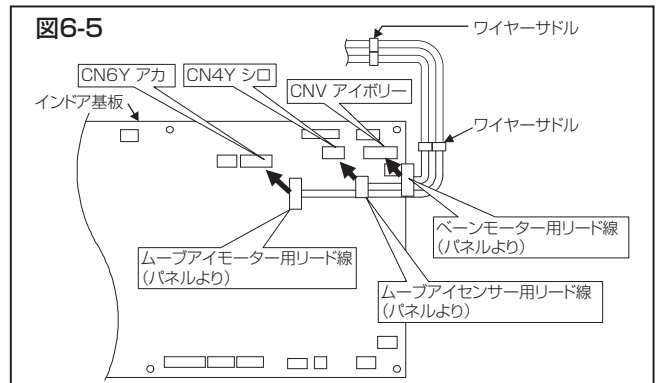


c. 本体形名 PL-RP112~160LA9 以降の場合

本体制御ボックスのカバーを外してください。

次にパネルのベーンモーターリード線をサイドフレームの穴とドレンパンの溝を通してください。

本体制御ボックス内のワイヤーサドルを通し、インドア基板の CNV にパネルのベーンモーターリード線のコネクタを確実に差込んでください。(図6-5)

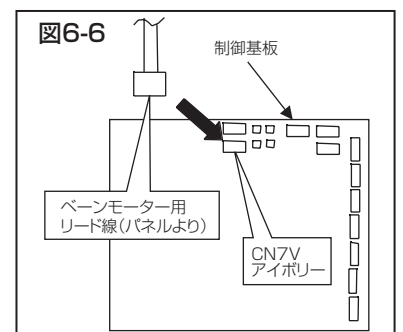


d. 本体形名 PLFY 形の場合

本体制御箱のカバーを外してください。(図6-1)

次にパネルのベーンモーターリード線をサイドフレームの穴とドレンパンの狭い側の溝を通してください。(図6-2)

本体制御基板の CN7V にパネルのベーンモーターリード線のコネクタを確実に差込んでください。(図6-6)



7. ムーブアイの配線 (CMP-P・ALWEG2)

a. PL-RP40~80LA8 以降、PL-RP112~160LA9 以降のみ

パネルのムーブアイセンサーリード線およびモーターリード線をサイドフレームの穴とドレンパンの溝を通してください。

本体制御箱内のワイヤーサドルを通し、制御基板の CN4Y / CN6Y にパネルのムーブアイセンサーリード線およびモーターリード線のコネクタを確実に差込んでください。(図6-4、図6-5)

8. 昇降パネル制御箱の配線

- 1) 自動昇降パネルの制御箱カバーのネジ 2 本を緩め、取外します。
 - 2) 黒コネクタ (2P) 2 本、白コネクタ (2P) 2 本、赤コネクタ (2P) 1 本を昇降基板の同色コネクタに確実に差込んでください。
- ※リード線の余長分は付属の結束バンドにて束ねてください。

a. 本体形名 PL 形の場合、本体形名 PLFY 形の場合 (標準仕様)

- 1) パネルからの 7 心ケーブル線のコネクタ (7P クロ) を付属のリード線①を使用して昇降基板 CN91 (シロ) に確実に差込んでください。(図8-1)

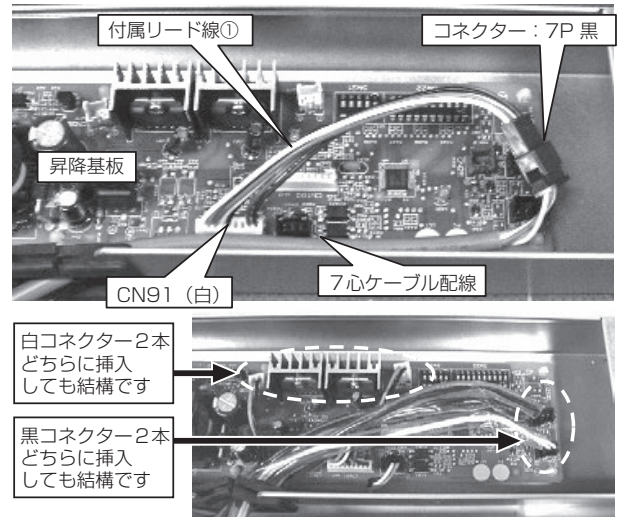


図8-1

b. 本体形名 PLFY 形：ワイヤードリモコンで昇降操作する場合 (ワイヤード仕様)

- 1) パネルからの 7 心ケーブル線のコネクタ (7P クロ) と制御箱内フリー状態の付属リード線④のコネクタ (7P クロ) を接続してください。(図8-2)

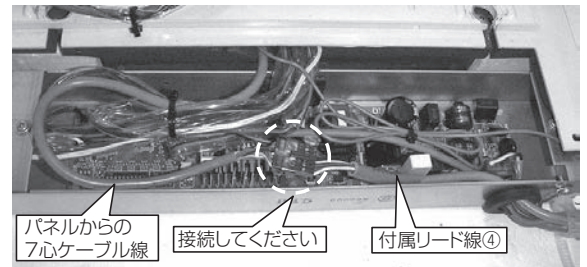


図8-2

9. アース線の配線 (P112 形パネルのみ)

① 昇降パネル制御箱側

- 1) パネルからのアース線を (図9-1) のように制御箱内を配線し、ゴムブッシュに通してください。
- 2) (図9-2) のアース線取付箇所のアースネジを一度取外し、パネルからのアース線と共に再度取付けてください。

※リード線の余長分は付属の結束バンドを用いて制御箱内で束ねてください。

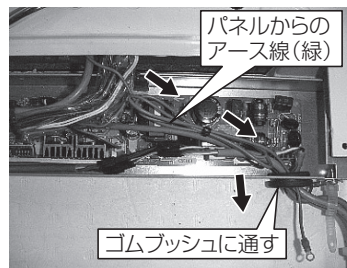


図9-1

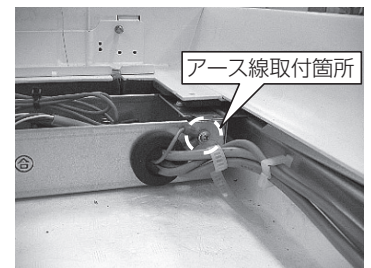


図9-2

② 本体制御箱側

- 1) パネルからのアース線を図6-2と同様にサイドフレームの穴とドレンパンの狭い側の溝を通してください。
- 2) (図9-3、図9-4) のように本体制御箱内を通し、アース線取付箇所に付属の PTT ネジ 4 × 8 を使用して、アース線を取付けてください。

※リード線の余長分は付属の結束バンドを用いて制御箱内で束ねてください。

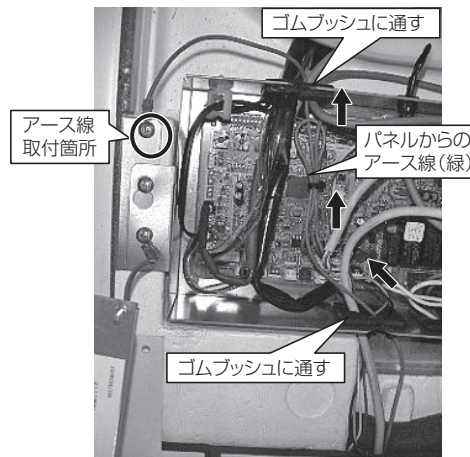


図9-3

(本体形名 PLFY 形、PL-RP112 ~ 160LA6,7,8 の場合)

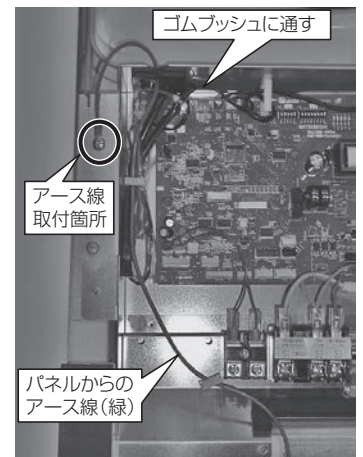


図9-4

(本体形名 PL-RP112 ~ 160LA9 の場合)

10. サービスパネルの下降位置設定

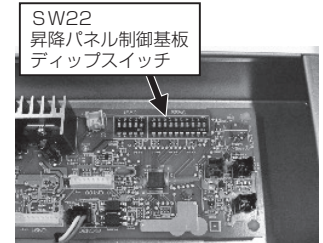
この自動昇降パネルは、サービスパネルの下降距離を設置場所に合わせお客様の要望により、4段階に設定することができます。

※工場出荷時は、天井面より 1.3m に設定しています。

※電源投入前に設定してください。(電源投入後に設定する場合は必ず電源を切ってから作業を行ってください。)

- 1) 自動昇降パネルの制御箱のカバーを外します。
- 2) 制御基板の SW22 のディップスイッチを下表の設定にします。

下降距離 (天井面より)	約 1.3m	約 1.8m	約 2.4m	約 3.1m
天井高さ の目安	～ 2.5m	2.5 ～ 3m	3 ～ 3.6m	3.6 ～ 4.2m
SW22 の設定	工場出荷時の状態 			



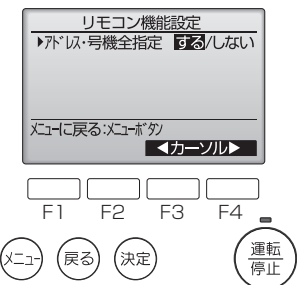
※昇降距離は目安であり、30cm 程度の範囲で変動することがあります。

11. ワイヤードリモコン (PAR-35MA) の機能設定 (PL のみ)

ワイヤードリモコンから昇降操作する場合は、本設定を行ってください。

リモコンの操作方法詳細はリモコンの「据付工事説明書 (設定編)」を参照ください。

- 1) サービスメニューにて [F1] [F2] ボタンを押して「リモコン機能設定」を選択し、[決定] ボタンを押すとリモコン機能設定画面を表示します。
- 2) アドレスおよび号機の全指定「する/しない」を“する”にしてください。([F3] [F4] ボタンで選択します。)
- 3) 選択後、[メニュー] ボタンでサービスメニュー画面に戻ります。



12. 配線図メイバンの貼付け

自動昇降パネル制御箱カバーの裏面に図のとおり配線図メイバンを貼付けてください。貼付け後、制御箱カバーを元どおりに取付けます。

※本体形名により貼付けるメイバンが異なります。

※本体形名 PLFY 形でワイヤードリモコンで昇降操作をしない場合は、貼付け不要です。

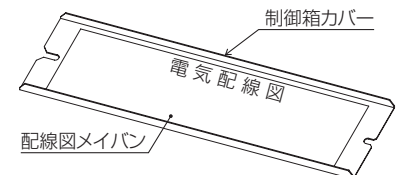


図 12-1

13. 自動昇降パネルの固定

自動昇降パネルを持ち上げ、天井面に当たるまでパネル取付ネジの 2 段目のネジで締め付けます。(図 13-1)

また、112 形の自動昇降パネルの取付けのみ、付属のトラスネジとワッシャーにて図 13-2 のように自動昇降パネルの中央部を本体に固定する作業も行ってください。

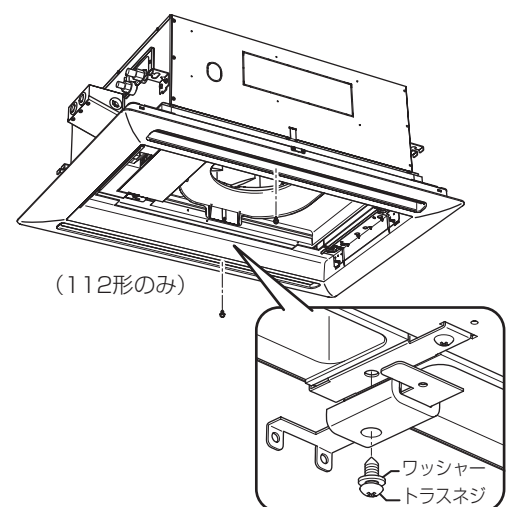
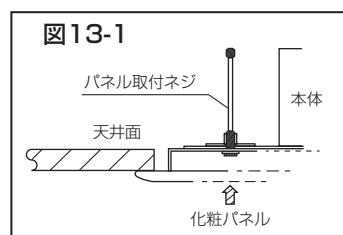


図 13-2

14. パネルネジ止め手順

1) (112形パネルのみ)

パネル中央部のトラスネジ (2カ所) を交互にバランス良く仮止めしてください。(図14-1)

2) 1)が完了しましたら図5-1 および図5-2 で仮止めしていた取付けネジとトラスネジを締め付けてください。(図14-2)

※締付手順を間違ったり、仮止めをしなかった場合は、パネルのたわみにつながるおそれがあります。

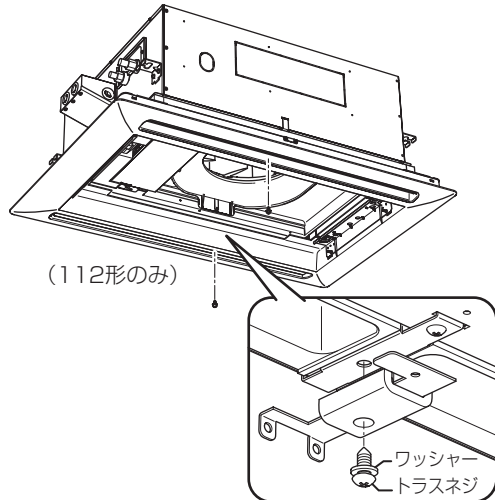


図14-1

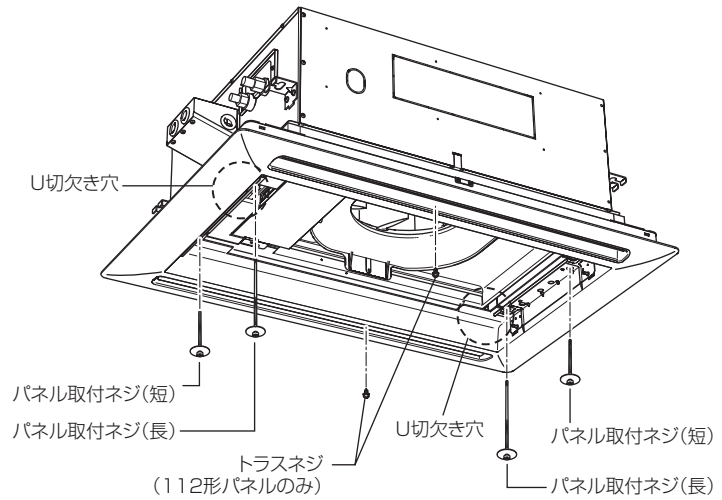


図14-2

※ユニット本体と自動昇降パネル、および自動昇降パネルと天井面との間に隙間が出来ないように、4本とも (112形パネルは6本) 均等に締込んでください。

※ユニット本体と自動昇降パネル間に隙間が出来ると風漏れにより露付、露垂れの原因になります。また、自動昇降パネルと天井面に隙間が出来ると、パネルの露付き、スマッジング (天井面が汚れる) の原因になります。(図14-3)

※パネルの取付けがうまく出来ない場合は再度、本体の吊込み状態を確認してください。

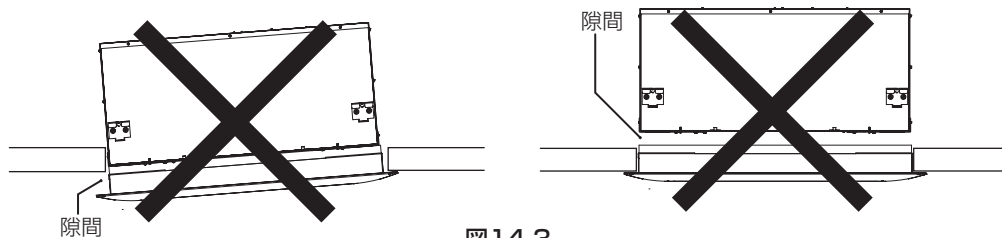


図14-3

15. サービスパネルの取付け

1) 自動昇降パネルにテープ貼りしているワイヤーを外してください。

次に、ワイヤー先端に取付けてある部品 (45・71形パネルの場合樹脂 / 112形パネルの場合金属製フック) をサービスパネルに取付けます。(図15-1、図15-2) (断熱材を押し込んで、部品を取付けてください。)

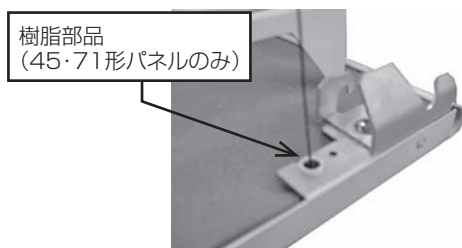


図15-1

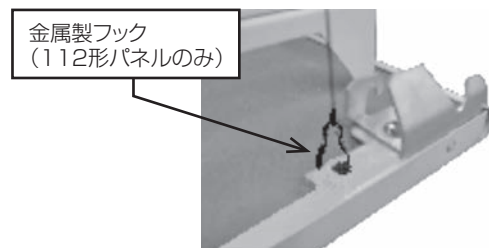


図15-2

2) (45・71形パネルのみ)

付属のプレート BR を (図15-3) のように PTT ネジ 1 個で、計 4 カ所ネジ止めしてください。(プレートの向きに注意してください。)

※プレートは必ず取付けてください。付け忘れた場合、サービスパネル、フィルターが落下し、ケガの原因になります。

※4本のワイヤーの張力がほぼ均一になるように調整してください。ワイヤーは下方に強く引けば下がります。

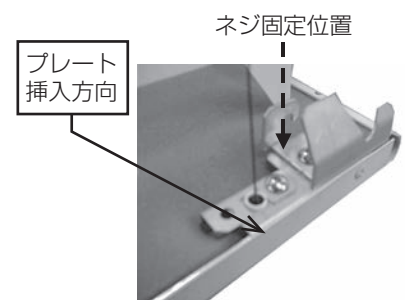


図15-3

16. 自動昇降パネルの収納

室内ユニットは必ず停止させた状態で作業してください。

リモコンまたはパネル受光部の [上げる] ボタンを押すと、サービスパネルは収納されます。

◆電源線の接続・制御基板コネクタの接続・化粧パネルの隙間・ワイヤーの取付けを再度確認し同一電源を使用している箇所の安全を確認した上で電源を投入してください。

17. オートベーン、自動昇降パネルおよびムーブアイの動作確認

- 1) ユニット本体と自動昇降パネル、および自動昇降パネルと天井面に隙間のないことを確認してください。(図14-3)
※隙間があると、露たれや露付きの原因となります。
- 2) 配線接続が確実にされていることを確認します。
※接続されていないと上下風向ベーンおよびムーブアイが動かない、または露たれや露付きの原因となったり、サービスパネルが昇降しない原因となります。
- 3) サービスパネルの下降距離がお客様の要望に合っていること、また、昇降動作がスムーズであることを動作させ確認します。
昇降操作方法は「取扱説明 (17 ページ)」以降を参照してください。
※昇降動作中、サービスパネルが傾くことがありますが、ワイヤーを巻くスピードが異なるため異常ではありません。
※正常位置にサービスパネルが収納されない場合、**最高4回**昇降動作を繰り返します。その際クラッチ音が鳴りますが故障ではありません。4 回目の昇降動作を繰り返し後は、その状態で停止します。収納されない状態で停止している場合は再度リモコンにて数十 cm 程度下降操作後、再度上昇操作してください。リモコン操作を繰り返してもサービスパネルが昇降されない場合は販売店または、サービス会社までご連絡ください。
- 4) オートベーンおよびムーブアイの動作確認につきましては本体の据付説明書 (試運転) または、取扱説明書の内容により実施してください。

18. 風の吹き分け方法 (ベーンの固定方法)

オートベーンを左右個別に設定し、吹き分けることができます。(図18-1)

- 1) 固定するベーンのベーンモーターカバーを外します。(図18-2、図18-3)
(無理矢理外すと引っ掛けのツメが割れるおそれがあります。マイナスドライバーでツメを押すと簡単に外れます。また貼付けている断熱材を剥がさないようご注意ください。)
- 2) ベーンに接続しているコネクタを外します。コネクタはロックされていますのでロック解除ボタンを押しながらコネクタを外します。(図18-4)
- 3) ベーンモーターカバーを、外したときと逆の要領で取付けてください。
- 4) 手でベーンをゆっくりと設定したい方向に合わせます。

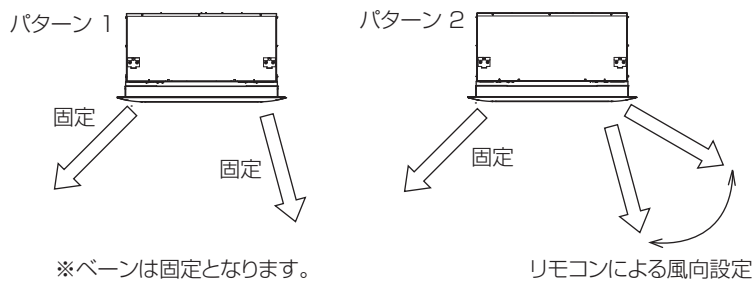


図18-1

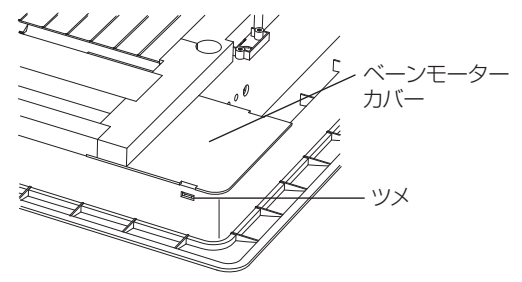


図18-2

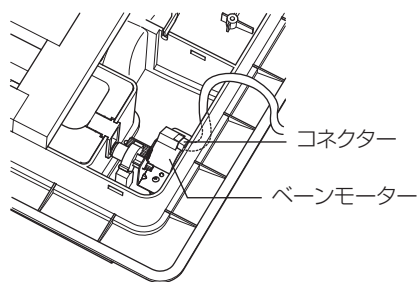


図18-3

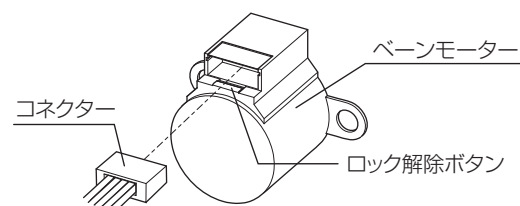


図18-4

19. 風量分配 (7 : 3) 方法

別売の風量分配部品を使用すると左右の風量分配化が 7 : 3 に設定できます。

※「18. 風の吹き分け方法 (ペーンの固定方法) (12 ページ)」の風の吹き分けとの組み合わせにより (図19-1) のように気流を選択できます。

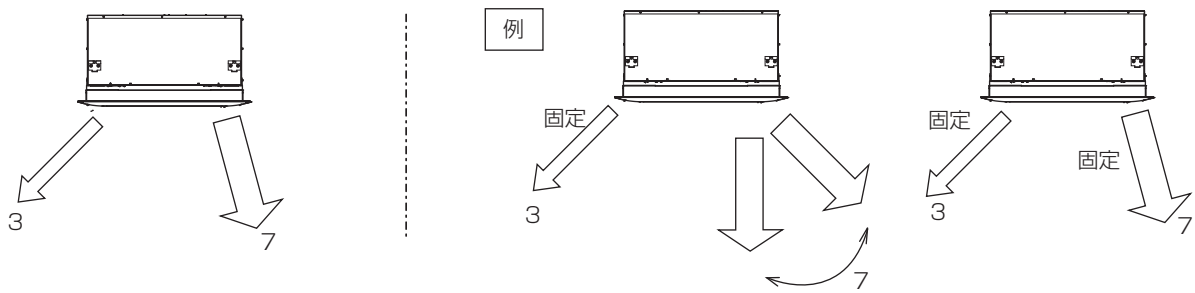


図19-1

20. 応急時のサービスパネルの固定について

電源投入前、および昇降メカ故障時サービスパネルが動作しなくなったときは、下記の応急処置を実施 (仮固定) してください。

1) サービスパネルの取外し

サービスパネルの取外しは、「15. サービスパネルの取付け (11 ページ)」の項と逆手順で行います。

パネルを吊上げているワイヤーは強く引っ張るとカラ回りするようになっています。パネルの両端を持ち強く下に引っ張ってください。20cm 程度下がったらワイヤーからサービスパネルを取外します。

2) サービスパネルの取付け

4 隅のパネル引掛け金具を取外し、180° 回して固定します。(図20-1)

サービスパネルの片側を引掛け、図20-2 ~ 図20-4 のように動かして取付けます。

※サービスパネルの片側を引掛ける際、長いフック側が化粧パネルのリモコン受光部側にくるように方向に注意してください。(図20-2)

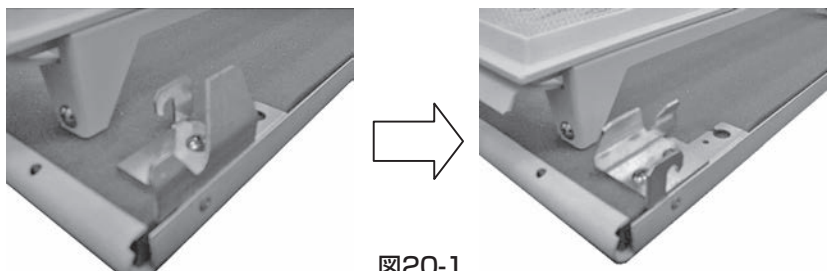


図20-1

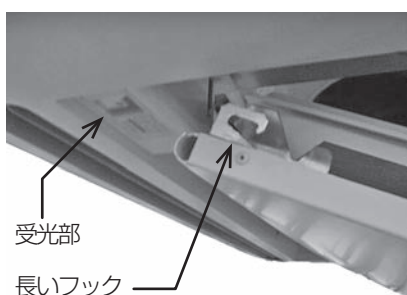


図20-2



図20-3



図20-4

※サービスパネルは仮固定となっているため、全開にすることはできません。

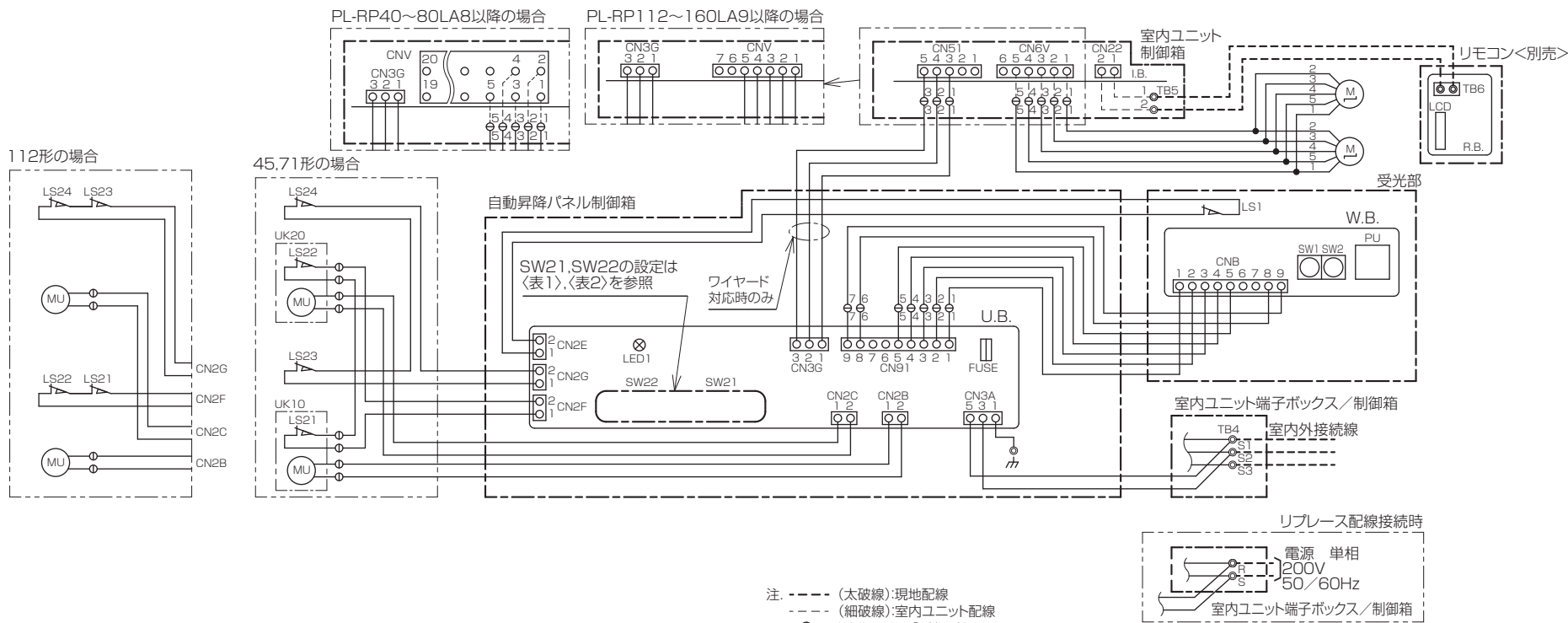
半開き状態で取外してください。(図20-3)

※仮固定になっていることを、張り紙などで本体に表示してください。

※修理が完了し、サービスパネルが正常に動作するようになったらの反対の手順で元どおりに戻してください。

21. 電気配線図

a. 本体形名 PL 形の場合



〈表1〉

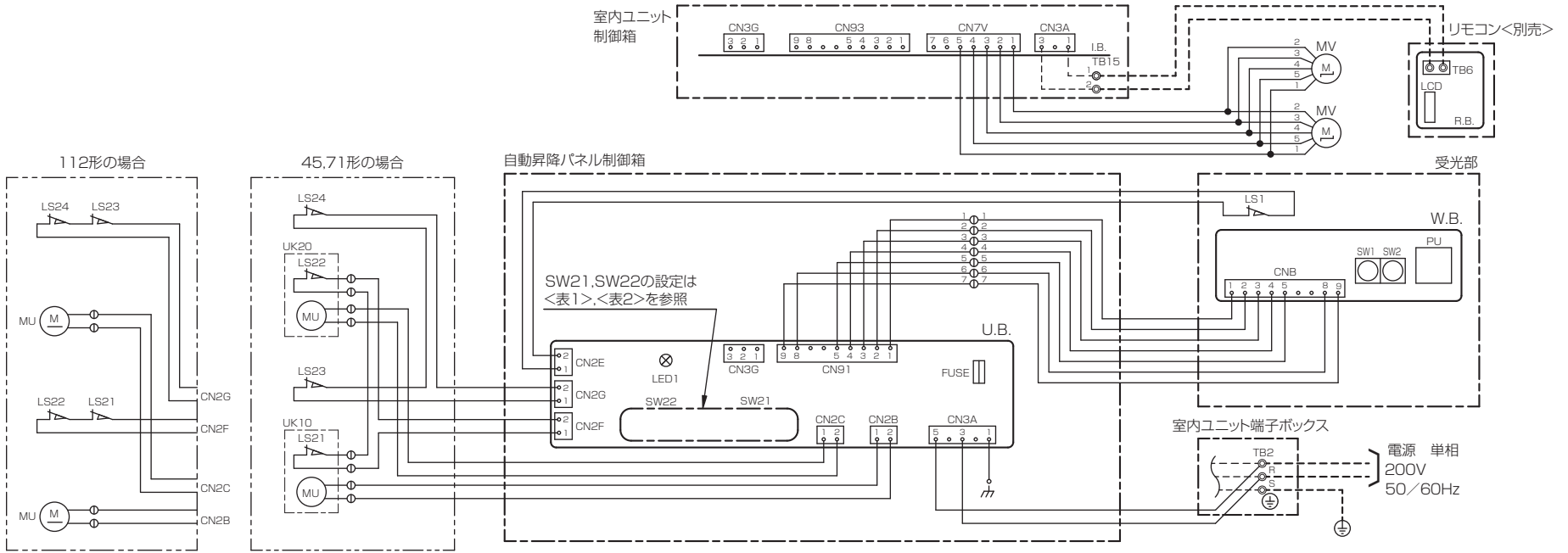
パネル形名	SW21(機種設定)
45形	
71形	
112形	

〈表2〉

パネル形名	SW22(昇降距離設定)		
	下降距離	天井高さの目安	スイッチ設定
45形 71形 112形	1.3m (工場出荷時)	~2.5m	
	1.8m	2.5~3m	
	2.4m	3~3.6m	
	3.1m	3.6~4.2m	

記号説明

記号	名称	記号	名称
U.B.	昇降用制御基板	UK10, 20	パネル昇降メカ(リミットスイッチ付)
SW21	スイッチ(機種設定)	LS1	リミットスイッチ(収納検知)
SW22	スイッチ(昇降距離設定)	LS21~24	リミットスイッチ(張力検知)
FUSE	ヒューズ(3.15A)	MU	昇降用電動機
W.B.	昇降用ワイヤレス受光基板	MV	ペーン用電動機
SW1	応急スイッチ(下降)	I.B.	室内制御基板<室内ユニット>
SW2	応急スイッチ(上昇)	TB4	端子盤(内外接続)<室内ユニット>
PU	受光部(昇降用)	TB5	端子盤(リモコン伝送線)<室内ユニット>
R.B.	リモコン基板<別売>		
TB6	端子盤(室内ユニット接続)		
LCD	液晶表示器		



注：--- (太破線)：現地配線 / --- (細破線)：室内ユニット配線

⊕：コネクター / ⊙：端子台

記号説明

記号	名称	記号	名称
U.B.	昇降用制御基板	UK10,20	パネル昇降メカ(リミットスイッチ付)
SW21	スイッチ(機種設定)	LS1	リミットスイッチ(収納検知)
SW22	スイッチ(昇降距離設定)	LS21~24	リミットスイッチ(張力検知)
FUSE	ヒューズ<3.15A>	MU	昇降用電動機
W.B.	昇降用ワイヤレス受光基板	MV	ペーン用電動機
SW1	応急スイッチ(下降)	I.B.	室内制御基板 <室内ユニット>
SW2	応急スイッチ(上昇)	TB2	電源端子台 <室内ユニット>
PU	受光部(昇降用)	TB15	MAリモコン用端子台<室内ユニット>
R.B.	リモコン基板 <別売>		
TB6	端子台(室内ユニット接続)		
LCD	液晶表示器		

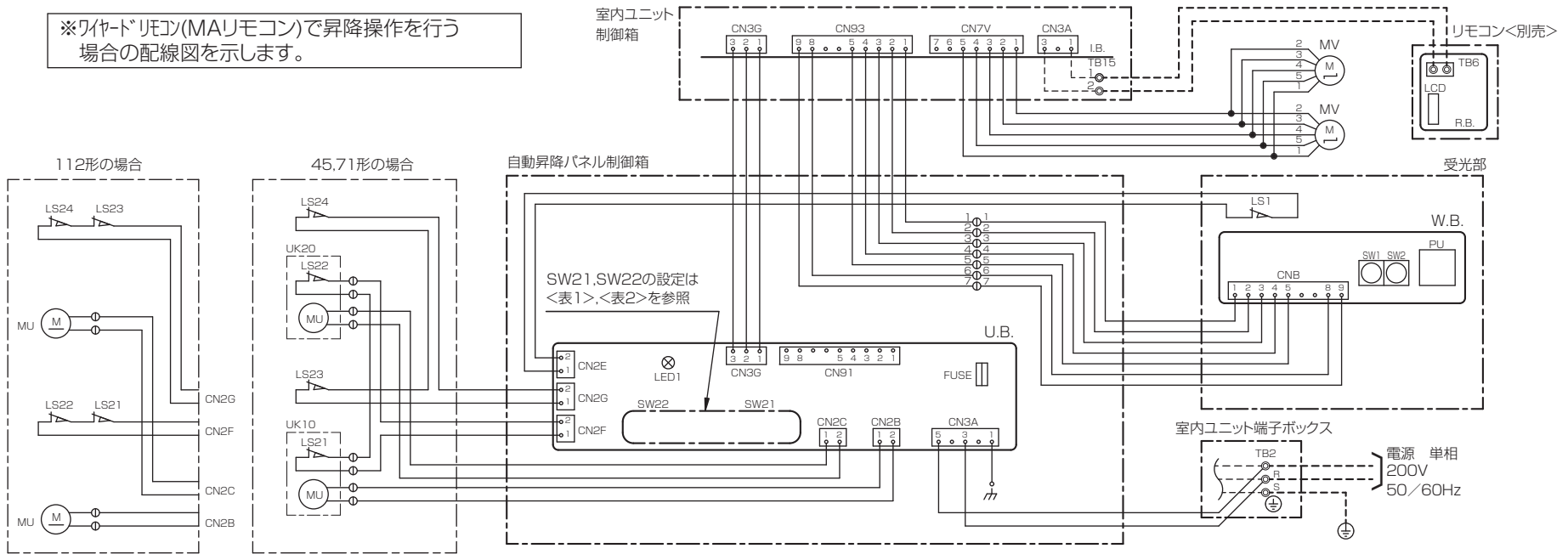
<表1>

パネル形名	SW21(機種設定)
45形	ON OFF
71形	ON OFF
112形	ON OFF

<表2>

パネル形名	SW22(昇降距離設定)		スイッチ設定
	下降距離	天井高さの目安	
45形 71形 112形	1.3m (工場出荷時)	~2.5m	ON OFF
	1.8m	2.5~3m	ON OFF
	2.4m	3~3.6m	ON OFF
	3.1m	3.6~4.2m	ON OFF

※ワイヤードリコ(MAリモコン)で昇降操作を行う場合の配線図を示します。



注 --- (太破線): 現地配線 / --- (細破線): 室内ユニット配線
 ○: コネクター / ◎: 端子台

<表1>

パネル形名	SW21(機種設定)
45形	ON OFF
71形	ON OFF
112形	ON OFF

<表2>

パネル形名	SW22(昇降距離設定)		スイッチ設定
	下降距離	天井高さの目安	
45形 71形 112形	1.3m (工場出荷時)	~2.5m	
	1.8m	2.5~3m	
	2.4m	3~3.6m	
	3.1m	3.6~4.2m	

記号説明

記号	名称	記号	名称
U.B.	昇降用制御基板	UK10,20	パネル昇降メカ(リミットスイッチ付)
SW21	スイッチ(機種設定)	LS1	リミットスイッチ(収納検知)
SW22	スイッチ(昇降距離設定)	LS21~24	リミットスイッチ(張力検知)
FUSE	ヒューズ<3.15A>	MU	昇降用電動機
W.B.	昇降用ワイヤレス受光基板	MV	ペーン用電動機
SW1	応急スイッチ(下降)	I.B.	室内制御基板 <室内ユニット>
SW2	応急スイッチ(上昇)	TB2	電源端子台 <室内ユニット>
PU	受光部(昇降用)	TB15	MAリモコン用端子台<室内ユニット>
R.B.	リモコン基板 <別売>		
TB6	端子台(室内ユニット接続)		
LCD	液晶表示器		

■ 取扱説明

⚠ 注意

- ・ ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この説明書を必ずお読みください。
- ・ お読みになった後は、本体操作の取扱説明書、本体据付工事説明書とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

1. 使用上の注意

⚠ 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。

降ろしたサービスパネルの上にフィルター以外のものをのせたり、ぶらさがらない。

- ・ 落下、転倒によるケガの原因になります。

サービスパネルの昇降動作中にパネルの下に立たない。またはものを置かない。

- ・ 万一サービスパネルが落下した場合などにケガの原因になります。

電池を絶対にショートさせない。また、分解、加熱、火中への投入は絶対にしない。

- ・ 破裂、発熱のおそれがあり、ケガ、火傷や故障の原因になります。

サービスパネルの昇降操作をするときは、ユニットの運転をとめる。

- ・ ケガの原因、昇降装置の故障の原因になります。

フィルターの清掃は 1 ヶ月に 1 回程度が目安です。

- ・ 頻繁にサービスパネルの昇降動作を行うと寿命の低下を招くおそれがあります。サービスパネルが「上昇しない・下降しない・収納できない」場合、または糸が切れた場合は故障ですでお買い上げの販売店までご連絡ください。

⚠ 注意 誤った取扱いをしたときに、障害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

フィルターやサービスパネルの清掃以外の目的で昇降操作をしない。

- ・ ケガや故障の原因になります。

サービスパネルの昇降操作中に、ワイヤーやサービスパネルには触らない。または揺らさない（風の吹いている場所での使用を控えて下さい）。

- ・ サービスパネルがぶつかったり、ワイヤーが巻き付いたりしてケガの原因、昇降装置の故障の原因になります。また、寿命低下の要因となります。

フィルター清掃時、または動作中にサービスパネルに下方への力を加えない。

- ・ 昇降装置の故障の原因になります。

エアコンを見ながら昇降操作をする。また、エアコンの下には昇降の障害となる物を置かない。人も近づけない。

- ・ サービスパネルが人や物に当たり、ケガの原因、物品損傷の原因になります。

連続して繰り返しての昇降操作をしない。また、サービスパネルを降ろしたままにしない。

- ・ ケガの原因、昇降装置の故障の原因になります。

ワイヤーは折り曲げたり、刃物やタバコの火などで触れない。

- ・ ワイヤー切断によりサービスパネル、フィルターが落下し、ケガの原因になります。

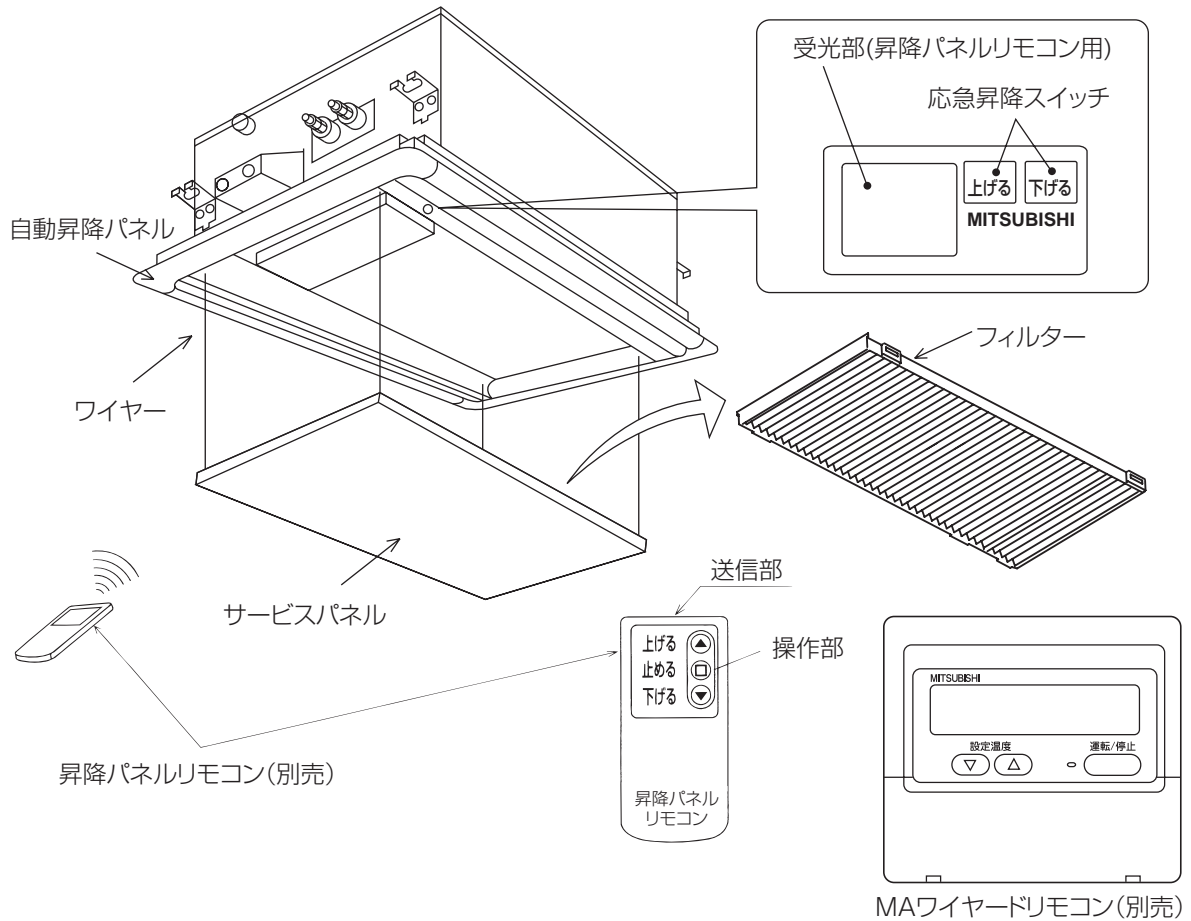
リモコンは、お子様の手の届く所に置かない。

- ・ ケガの原因になります。
- ・ 電池を飲み込んだりして危険です。

電池の使い方を誤ると液漏れ、破裂、発熱のおそれがあり、機器の故障やケガなどの原因になりますので下記のことを必ず守る。

- ・ 充電しない。
- ・ (+) (-) を正しく入れる。
- ・ 使い切った電池はすぐに器具から取外す。

2. 各部の名前



3. ワイヤレスリモコン（昇降パネルリモコン(別売)）の取扱い

① ワイヤレスリモコンは自動昇降パネルの真下から受光部に向かって操作してください。

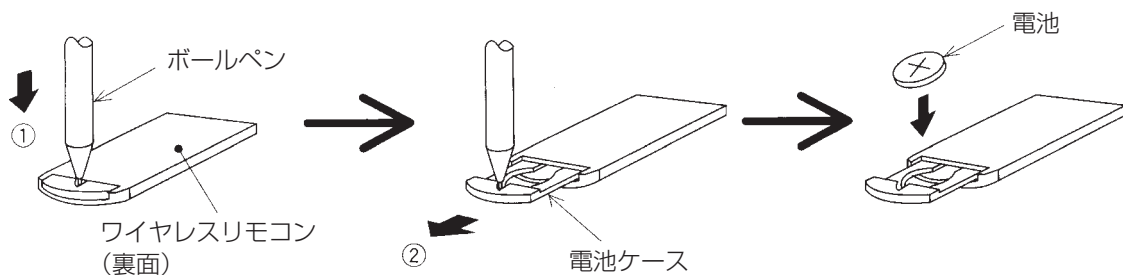
※ワイヤレスリモコンの送信部の信号が受光部に届き、“ピッ”と音を出してお知らせします。この信号の届く範囲は直線方向で約 3m、左右方向約 30°程度です。また、蛍光灯などの照明や強い光の影響を受けて、信号が届きにくくなる場合があります。

※ワイヤレスリモコンの取扱いは大切にしてください。落としたり、衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、湿気の高いところには置かないでください。

※紛失防止のために、ワイヤレスリモコンに付属のマジックテープを使用し、壁等に固定するようにしてください。また、使用後は必ず元に戻すようにしてください。

② ワイヤレスリモコンの電池の入れ方

- ボールペン等の先端で矢印①のように下へ押しつけながら矢印②の方向にスライドし、電池ケースを外します。
- 電池はリチウム電池（CR2025、3V）をお使いください。
- 電池はプラス表示面を上にして電池ケースに入れ、電池ケースを元のようにワイヤレスリモコンへセットします。




4. サービスパネルの昇降操作のしかた

<1> 操作上のご注意


- ・ サービスパネルは、ワイヤーに張力のかかった状態でないと昇降しません。
- ・ 連続して繰り返しの下降・上昇の操作をしないでください。(故障の原因になります。)
- ・ サービスパネルを降ろす際に、下に障害物が無いことを確認してください。
- ・ フィルター清掃後、元のとおり確実にサービスパネルに取付けないと、サービスパネルが収納しません。また、故障の原因になります。


<2> ワイヤレスリモコンからの操作

- 1) エアコンの運転を必ず停止します。

 警告	エアコンの運転を必ず停止します。
	●ケガや故障の原因になります。

- 2) リモコンの [下げる] ボタンを押し、サービスパネルを降ろします。
サービスパネルが下降し、一定の距離で自動停止します。
※工場出荷時は、天井面より約 1.3m で自動停止します。
下降距離の設定を変更したい場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。
(その他にも、1.8m / 2.4m / 3.1m の設定が可能です。)
※下降中に停止したい場合は、リモコンの [止める] または [上げる] ボタンを押すと任意の位置で停止します。
※昇降距離は目安であり、30cm 程度の範囲で変動することがあります。
- 3) フィルターを外し、清掃します。(「5. 清掃のしかた (26 ページ)」の項目をご参照ください。)
- 4) リモコンの [上げる] ボタンを押し、サービスパネルを収納します。
※上昇中に停止したい場合は、リモコンの [止める] または [下げる] ボタンを押すと任意の位置で停止します。

フィルターの清掃・交換などの作業時はユニットの真下にいないこと。	 禁止
・ フィルターの自重降下によるけがのおそれあり。	

 注意	エアコンを見ながら昇降操作をする。また、エアコンの下には昇降の障害となる物を置かない。人も近づけない。
	●サービスパネルが人や物に当たり、ケガの原因、物品損傷の原因になります。

- ※正常位置にサービスパネルが収納されない場合、**最高 4 回**昇降動作を繰り返します。
その際クラッチ音が鳴りますが故障ではありません。4 回目の昇降動作を繰り返し後は、その状態で停止します。
収納されない状態で停止している場合は再度リモコンにて数十 cm 程度下降操作後、再度上昇操作してください。
リモコン操作を繰り返してもサービスパネルが昇降されない場合は販売店または、サービス会社までご連絡ください。
- ※昇降動作中サービスパネルが傾くことがありますが、ワイヤーを巻くスピードが異なるためで異常ではありません。

<3> ワイヤードリモコン (PAR-35MA) からの操作

① ワイヤードリモコン操作上のご注意

- 部屋のレイアウトの変更などにより、ワイヤードリモコンの位置からエアコンが見えない場合は、下降するパネルに人や物が当たり、損傷を与えるおそれがありますので、ワイヤレスリモコン（昇降パネルリモコン（別売））をご使用ください。詳しくは販売店にお問い合わせください。
- 危険防止のため、必ずエアコンを見ながら昇降操作をしてください。
- ワイヤードリモコンが管理しているエアコンが複数ある場合、全てのエアコンのサービスパネルが同時に昇降します。リモコンからの設定によりエアコン個別指定が可能です。操作を誤った場合、下降するパネルに人や物が当たり、損傷を与えるおそれがありますので、必ず昇降操作しているエアコンの下には障害となる物を置かないようにし、人も近づかないようにしてください。
- ワイヤードリモコンからの昇降操作時、途中で停止させる場合は、すぐには止まりませんので、必ず昇降操作しているエアコンの下には障害となる物を置かないようにし、人も近づかないようにしてください。

※リモコンが管理しているエアコンの吸込グリルを昇降させます。


リモコンの位置からエアコンが見えないと下降するグリルに人や物が接触し損傷を与えるおそれがありますので、リモコンが管理する全てのエアコンが見渡せる位置にリモコンを設置してください。

② リモコン操作ボタン説明

ファンクションボタン

ファンクションボタンは操作する画面によって動作が変わります。液晶表示下部の操作ガイドにしたがって操作してください。

メイン画面



F1ボタン

- メイン画面: 運転モードを切替えます。
- メインメニュー画面: カーソルが下に移動します。

F2ボタン

- メイン画面: 設定温度を下げます。
- メインメニュー画面: カーソルが上に移動します。

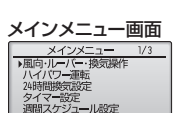
F3ボタン

- メイン画面: 設定温度を上げます。
- メインメニュー画面: 前のページを表示します。

F4ボタン

- メイン画面: 風量を切替えます。
- メインメニュー画面: 次のページを表示します。

メインメニュー画面



メニューボタン

- メインメニューを表示します。

戻るボタン

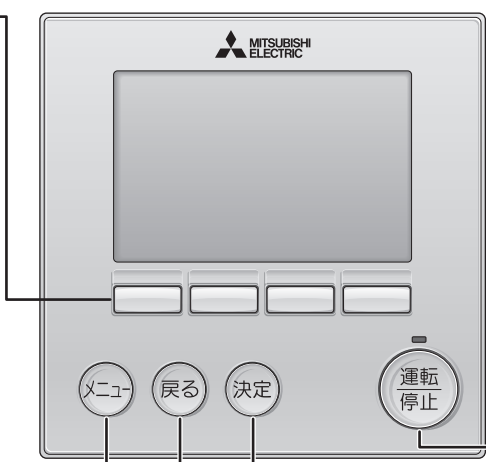
- 前の画面に戻ります。

決定ボタン

- 設定の決定をします。

運転/停止ボタン

- 1度押すと運転し、もう1度押すと停止します。



③ 設定の手順

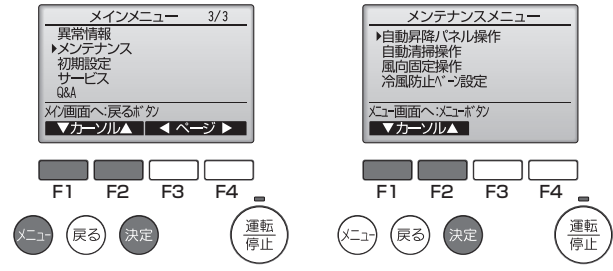
[手順 1] エアコンを『停止』にして、リモコンを『自動昇降パネル操作』に切替えます。

警告

エアコンの運転を必ず停止します。

●ケガや故障の原因になります。

- 1) [運転/停止] ボタンで、エアコンを停止にします。
[メニュー] ボタンで、メインメニュー画面を表示します。
[F1],[F2] ボタンで、「メンテナンス」を選択し、
[決定] ボタンを押します。
- 2) [F1][F2] ボタンで、「自動昇降パネル操作」を選択し、
[決定] ボタンを押します。



お知らせ (PLの場合)

• カンタン自動パネルを据付けているのに「自動昇降パネル操作」“無”と表示されている場合は「リモコン機能設定」にて「アドレス・号機全指定」を“する”に切替えてください。詳細はリモコンの「据付工事説明書（設定編）」を参照ください。

【手順2】 吸込グリルを下降させます。

〈PLの場合〉

[F1] ボタンで「冷媒アドレス」「号機」を選択します。

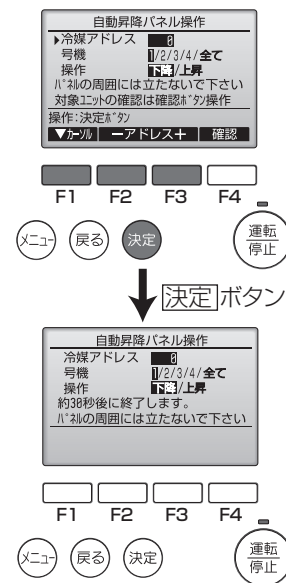
[F2] または [F3] ボタンで操作するユニットの「冷媒アドレス」と「号機」「操作」を“下降”に設定し、[決定] ボタンを押すことで、吸込グリルが下降します。

冷媒アドレス：0～15、一括
号機アドレス：1～4、全て

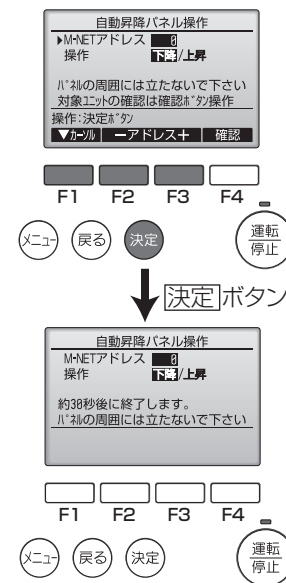
〈PLFYの場合〉

[F1] ボタンで「M-NET アドレス」「操作」を選択します。
[F2],[F3] ボタンで操作するユニットの「M-NET アドレス」と「操作」を“下降”に設定し、[決定] ボタンを押すことで、吸込グリルが下降します。

〈PLの場合〉



〈PLFYの場合〉



お知らせ	<ul style="list-style-type: none"> 操作したいユニットがわからない場合は [F4] ボタンを押すと、しばらくしてから表示対象のエアコンのみ上下風向角度が下吹きになります。(対象以外のエアコンのベーンは閉じた状態となります) 確認ができたなら [戻る] ボタンを押してください。
-------------	--

お知らせ	<p>途中で停止させることはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 下降中に [戻る] ボタンを押すと止まる場合がありますが、すぐには止まりません。(最大 8 秒かかります) <p>工場出荷時は、天井面より 1.3m の下降距離で自動停止します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 下降距離を変更したい場合は、お買上の販売店へご相談ください。(1.8m/2.4m/3.1m の設定変更ができます。距離は目安ですので、実際に下降させて確認してください) 昇降距離は目安であり、30cm 程度の範囲で変動することがあります。
-------------	---

フィルターの清掃・交換などの作業時はユニットの真下にいないこと。

- ・フィルターの自重降下によるけがのおそれあり。

禁止

⚠ 注意

エアコンを見ながら昇降操作をする。また、エアコンの下には昇降の障害となる物を置かない。人も近づけない。

- サービスパネルが人や物に当たり、ケガの原因、物品損傷の原因になります。

【手順3】 フィルターや吸込グリルをはずし、清掃します。

「5. 清掃のしかた (26 ページ)」を参照し、フィルターや吸込グリルの清掃をおこなってください。

【手順4】 吸込グリルを収納します。

〈PLの場合〉

【手順2】を参考に「冷媒アドレス」「号機」を選択し、“上昇”を選択したら [決定] ボタンを押します。

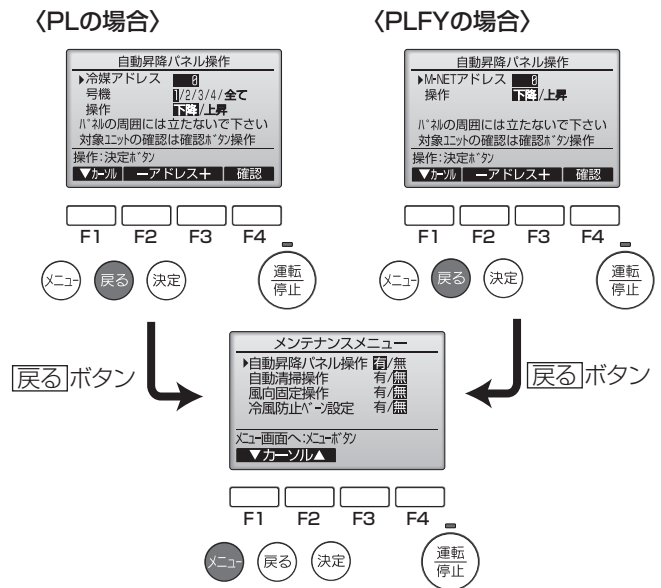
〈PLFYの場合〉

【手順2】を参考に「M-NET アドレス」を選択し、“上昇”を選択したら [決定] ボタンを押します。

お知らせ	<p>途中で停止させることはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上昇中に [戻る] ボタンを押すと止まる場合がありますが、すぐには止まりません。
-------------	--

【手順5】「自動昇降パネル操作」を解除します。

- 1) **【戻る】** ボタンを押して、メンテナンスメニュー画面にもどります。
- 2) メンテナンスメニュー画面で **【メニュー】** ボタンを押します。
終了処理を実行し、メインメニューにもどります。



<4> ワイヤードリモコン (PAR-26MA1) からの操作

① ワイヤードリモコン操作上のご注意


- 部屋のレイアウトの変更などにより、ワイヤードリモコンの位置からエアコンが見えない場合は、下降するパネルに人や物が当たり、損傷を与えるおそれがありますので、ワイヤレスリモコン (昇降パネルリモコン (別売)) をご使用ください。詳しくは販売店にお問い合わせください。
- 危険防止のため、必ずエアコンを見ながら昇降操作をしてください。
- ワイヤードリモコンが管理しているエアコンが複数ある場合、全てのエアコンのサービスパネルが同時に昇降します。リモコンからの設定によりエアコン個別指定が可能です。操作を誤った場合、下降するパネルに人や物が当たり、損傷を与えるおそれがありますので、必ず昇降操作しているエアコンの下には障害となる物を置かないようにし、人も近づかないようにしてください。
- ワイヤードリモコンからの昇降操作時、途中で停止させる場合は、すぐには止まりませんので、必ず昇降操作しているエアコンの下には障害となる物を置かないようにし、人も近づかないようにしてください。

② 一般的な操作

※リモコンが管理している全てのエアコンのサービスパネルを同時に昇降させます。

1) エアコンの運転を、必ず「停止」にしてください。


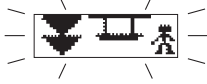

※「停止」にしないと昇降操作モードに入れません。

 警告	エアコンの運転を必ず停止します。
	●ケガや故障の原因になります。


2) リモコンの [フィルター] と [換気] ボタンを、同時に 2 秒以上押して、昇降操作モードに入ります。


「昇降操作モード」表示	
-------------	--

3) [設定温度 (▽)] を押すと、しばらくしてからサービスパネルが下降します。

① 「下降 準備中」表示	
② 「下降中」表示 (点滅)	
③ 下降終了「停止」表示	

お知らせ	<p>下降中に [△] ボタンを押すと停止操作となりますが、すぐには止まりません。(最大 8 秒かかります)</p> <ul style="list-style-type: none"> • リモコンに「準備中」が表示されているときは操作が無効となりますので、「下降中」表示 (点滅) 中に操作してください。 • 工場出荷時は、天井面より 1.3m の下降距離で自動停止します。 • 下降距離を変更したい場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。(1.8m/2.4m/3.1m の設定変更ができます。距離は目安ですので、実際に下降させて確認してください。) • 昇降距離は目安であり、30cm 程度の範囲で変動することがあります。
-------------	--

フィルターの清掃・交換などの作業時はユニットの真下にいないこと。	 禁止
<ul style="list-style-type: none"> • フィルターの自重降下によるけがのおそれあり。 	

 注意	<p>エアコンを見ながら昇降操作をする。また、エアコンの下には昇降の障害となる物を置かない。人も近づけない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サービスパネルが人や物に当たり、ケガの原因、物品損傷の原因になります。
---	---

※リモコンの位置からエアコンが見えない場合は、ワイヤレスリモコン (昇降パネルリモコン (別売)) をご使用ください。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

4) フィルターやサービスパネルをはずし、清掃します。(「5. 清掃のしかた (26 ページ)」をご参照ください。)

5) [設定温度 (△)] を押すと、しばらくしてからサービスパネルが上昇し、収納されます。

① 「下降 準備中」表示	
② 「下降中」表示 (点滅)	
③ 下降終了「停止」表示	

お知らせ 上昇中に [▽] ボタンを押すと停止操作となりますが、すぐには止まりません。(最大 8 秒かかります)
 ・リモコンに「準備中」が表示されているときは操作が無効となりますので、「上昇中」表示 (点滅) 中に操作してください。

フィルターの清掃・交換などの作業時はユニットの真下にいないこと。

・フィルターの自重降下によるけがのおそれあり。

禁止

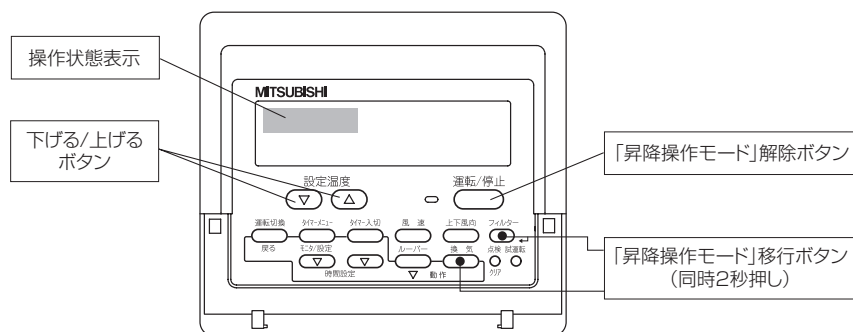
注意 エアコンを見ながら昇降操作をする。また、エアコンの下には昇降の障害となる物を置かない。人も近づけない。

●サービスパネルが人や物に当たり、ケガの原因、物品損傷の原因になります。

※リモコンの位置からエアコンが見えない場合は、ワイヤレスリモコン (昇降パネルリモコン (別売)) をご使用ください。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

6) [運転/停止] ボタンを押す。または [フィルター] と [換気] ボタンを、同時に 2 秒以上押して昇降モードを解除してください。

※昇降モード終了後、約 30 秒間は操作をしないでください。操作しても受け付けません。



③ エアコン個別指定しての昇降操作

※リモコンが管理しているエアコンのうち、特定のエアコンを指定してサービスパネルを昇降させます。

- 1) エアコンの運転を、必ず「停止」にしてください。
 ※「停止」にししないと昇降操作モードに入れません。

警告 エアコンの運転を必ず停止します。
 ●ケガや故障の原因になります。

- 2) リモコンの [フィルター] と [換気] ボタンを、同時に 2 秒以上押して、昇降操作モードに入ります。

「昇降操作モード」	
-----------	--

3) [換気] ボタンを押すと、しばらくして「個別指定の昇降操作モード」に切り替わります。

①	「昇降操作モード」	
②	「個別指定の昇降操作モード」	

図②の表示では、現在「冷媒アドレス No. "00"」「号機 No. "1"」のエアコンが選択されている状態です。
 操作対象のエアコン No. がわからない場合。→ 4) へ
 操作対象のエアコン No. がわかっている場合。→ 5) へ

4) “号機 No.” または “冷媒アドレス No.” が点滅している状態で [フィルター] ボタンを押すと、しばらくしてから、表示対象のエアコンのみ上下風向角度が下吹きになります。(対象以外のエアコンの風向は水平吹きとなります。)
 次項 5) の操作で、“号機 No.”、“冷媒アドレス No.” の切り換え、および [フィルター] ボタンを押しての上下風向角度により操作対象エアコンをお探してください。

お知らせ ・ [フィルター] 押しによる対象エアコン確認時に、“Err” 表示となった場合は、対象の「号機」や「冷媒アドレス」のエアコンが存在しないと考えられます。再度、設定し直してください。

5) “号機 No.” および “冷媒アドレス No.” の選択をしてください。
 号機 No. または、冷媒アドレス No. の変更は、下記①②画面の状態、[設定温度 (▽) (△)] ボタンで変更できます。
 [運転切換] ボタンを押すごとに、下記のように操作内容の対象が切り替わります。

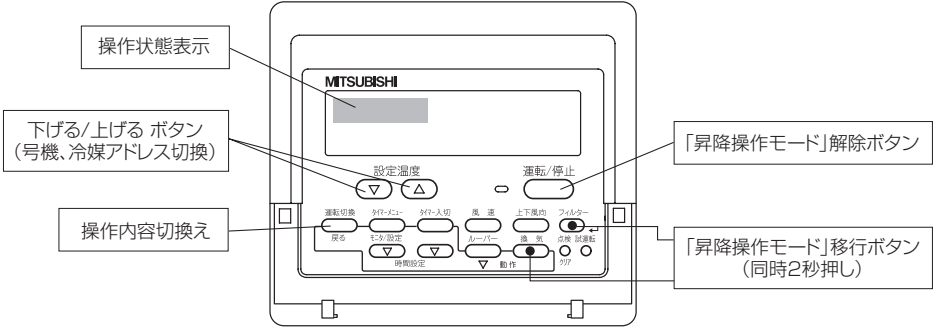
①	「号機 No.」 選択表示	
②	「冷媒アドレス No.」 選択表示	
③	「昇降操作待ち」 表示	

お知らせ ・ 号機 No. は “1 ~ 4” 号機および “0” 号機の切り換えになります。(0号機とは、1 ~ 4号機の全てを対象とします。)
 ・ 冷媒アドレスは、“0 ~ 15” アドレスの切り換えになります。

6) [運転切換] ボタンを押していき、「昇降操作待ち」表示に切り換えてください。

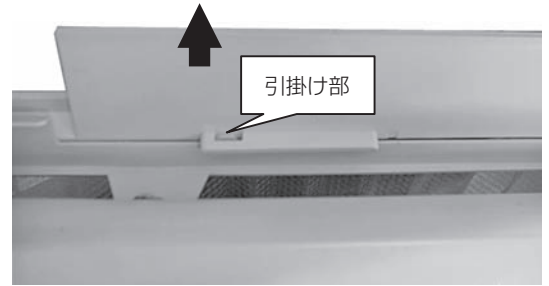
「昇降操作待ち」表示	
------------	--

以降の操作は、「② 一般的な操作 (23 ページ)」の 3) ~ 6) 操作と同じになりますので、そちらの項をご覧ください。



5. 清掃のしかた

- 1) フィルターの引掛け部を引いて、フィルターを外します。
- 2) フィルターのほこりを掃除機で吸取るか、水洗いします。
※汚れがひどい時は中性洗剤を溶かしたぬるま湯ですすいでください。
※熱い湯（約 50℃以上）で洗わないでください。
（変形することがあります。）
- 3) 水洗いした後は、日陰でよく乾かします。
（乾燥が十分でない場合、寿命低下の要因となります。）
※直射日光や直接火にあてて乾かささないでください。
（変形することがあります。）
- 4) フィルターをサービスパネルに取付けます。（取外しの逆手順）
※フィルターの向きに注意してください。（180°反転はできませんが、表裏は反転できません。）



6. 応急昇降について

ワイヤレスリモコンが使えない時（電池切れ・紛失・故障時等）に、受光部の応急スイッチにより操作することができます。

※高所作業になりますので、十分注意して操作してください。

※下降・上昇の操作方法はワイヤレスリモコンと同じですが、停止される場合は昇降中の動作と逆のボタンを押すことにより停止します。

- ・ 下降中に [上げる] ボタンを押すと停止
- ・ 上昇中に [下げる] ボタンを押すと停止

※ [下げる] ボタン長押しで暖房応急運転
[上げる] ボタン長押しで冷房応急運転 となります。

7. 「故障かな？」と思ったら

サービスを依頼される前にお確かめください。

症 状	原 因	処 置
リモコンを操作してもサービスパネルが動かない。	エアコンを運転していませんか？	エアコンの運転を止め、再操作してください。
	停電ではありませんか？	停電復帰後、再操作してください。
	ワイヤレスリモコンに電池は入っていますか？ または、電池が消耗していませんか？	電池を入れる、または交換してください。
	サービスパネルの上に何か載っていませんか？または、サービスパネルに何か引掛っていませんか？	載っているものをとる、または引掛かりを外してください。
	ワイヤーがたるんでいませんか？	ワイヤーがたるんでいると昇降動作しません。ワイヤーに張力のかかった状態にしてください。
サービスパネルが収納できない。	サービスパネルの上に何か載っていませんか？	載っているものをとってください。
	フィルターがきちんと取付けられていますか？	再下降して、フィルターが確実に取付いているか確認してください。
	サービスパネルにワイヤー先端樹脂部品が4カ所とも取付けられていますか？	再下降して、サービスパネルにワイヤー先端樹脂部品を取付けてください。
サービスパネルが途中で止まる。 (それ以上、下らない)	サービスパネルが自動位置まで降りたためです。(それ以上上げようとすると“ピー、ピー、ピー”と音がします。)	異常ではありません。 ※下降距離の設定を変更したい場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。
昇降動作中に音がする。 (上昇中または下降中)	ワイヤーが巻かれる、または出される時の音です。	異常ではありません。
サービスパネル収納後「ウーン」音が数秒間鳴る。	パネルの昇降モーターのクラッチが作動している音です。(収納を確実にを行うための動作です。)	異常ではありません。
昇降動作中にサービスパネルが傾く。	各ワイヤーを巻くスピードが多少異なるためです。	異常ではありません。
サービスパネル収納後「ウーン」音が止まらない。	基板へのコネクタが差込まれていませんか？(収納した事を検知していません。)	コネクタを確実に差込んでください。
サービスパネル収納時に数回収納動作を繰り返す。	1回で収納できない。	異常ではありません。 ※ただし、最終的に収納しない状態で停止した場合はお買い上げの販売店またはサービス会社までご連絡ください。
昇降動作途中で停止した後、再度動作させた時に再収納動作(下降・上昇を繰り返す)となる。	昇降距離の検知がされていません。	リモコンで操作し、サービスパネルを1回収納した状態に戻してご使用ください。

※以上のことをお確かめになった上で、なお調子がよくないときは、ご自分で修理しないでください。お買い上げの販売店へご相談ください。

8. 保証とアフターサービス

<1> 機器予防保全の目安

【保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。】

製品の昇降回数は、1回/月、12回/年と仮定しています。

また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。

- ・ 温度・湿度の高い場所あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
- ・ 電源変動（電圧、周波数、波形歪みなど）が大きい場所でご使用される場合。
- ・ 振動、衝撃が多い場所に設置されご使用される場合。
- ・ 塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。
- ・ 頻繁な発停のある場合、運転時間が長い場合。（24時間空調など）

表-1. 「点検周期」および「保全周期」の一覧表

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
昇降モーター	1年	昇降回数：120回

注. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。

- 定期点検実施の場合でも予期出来ない突発的偶発故障が発生することがあります。
この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。
- 補修用部品の保有期間について
この製品の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後9年間となっています。
この期間は経済産業省の指導によるものですが、当社はこの基準により補修用部品を調達した上修理によって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理を実施致します。

<2> アフターサービスご契約のおすすめ

当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検を致します。万一の故障の時も早期に発見し適切な処置を行う事が出来ます。

<3> 保証について

【保証期間は、お買い上げ日または据付日または試運転完了日から起算して1年間です。】

良好な状態で長く安心してご使用いただくために、お客様に実施いただく日常点検（フィルター清掃など）以外に専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。

標準的な保守点検の「点検周期」および定期点検に伴う「保全周期」[主要部品の交換・修理実施周期]は、「表-1. 「点検周期」および「保全周期」の一覧表」を目安にされると便利です。

なお、保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によくお確かめください。

三菱電機株式会社

〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3（東京ビル）
〒640-8686 和歌山市手平6-5-66冷熱システム製作所

WT07223X02